

地域に
居場所
がない

一歩踏み
出すための
選択肢を
増やしたい

仲間が
ほしい

場づくりのキホンが
身につく1日

ひきこもりUX DAY CAMP 全国キャラバン

ひきこもり当事者や経験者には——いや、ほとんど誰にとっても、安心して自分らしくいられる「居場所」が必要です。それは生きづらさを抱えた人たちがこころを休め、あらたな一歩を踏み出すための「生存戦略のベースキャンプ」といえるのです。

新しいことを始めるのって、もちろん不安もあると思います。

- 「開催費用どうしよう…」
→ UX会議が、いくらか「出資」しちゃいます
- 「告知って、どうすればいいか…」
→ ノウハウをお伝えし「拡散」をお手伝いします
- 「一緒にできる仲間がほしいな…」
→ ここへ来れば、出会いが待ってる（かも）

多彩な場づくりを手がけコンテンツを発信してきたUX会議メンバーがノウハウをシェア、そこへ当事者や支援者の垣根を超えた参加者それぞれのUX（固有の体験）や地域の資源をブレンドして、新たな居場所を増やしたい——2019年2月に東京で開催し好評を得た「ひきこもりUX CAMP」のエッセンスを凝縮した「ひきこもりUX DAY CAMP」、始動します!!

〈このような方におすすめです〉

公的機関・民間団体の支援者、行政担当者、地域活動・福祉・教育関係者、ひきこもり当事者・経験者

- 居場所をつくりたいが、何から始めればよいのかわからない
- 当事者会を運営しているが、利用者の満足度を高めたい
- ひきこもり支援のあり方を問い直したい
- 当事者のニーズをすくい上げるためのヒントがほしい
- 生きづらさを乗り切るための方策を模索したい
- 場づくりをする際に、どのような視点が必要か知りたい…など

COMING SOON...

2019年9月より、全国6都市で順次開催!!



開催日 & 会場



福岡

2019年9月26日(木)
リファレンス キャナルシティ博多

札幌

2019年11月14日(木)
札幌市男女共同参画センター

大阪

2019年10月9日(水)
大阪府立男女共同参画
青少年センター(ドーンセンター)

名古屋

2019年11月21日(木)
ウインクあいち(愛知県産業労働センター)

仙台

2019年10月14日(月・祝)
エル・ソーラ仙台
後援:(公財) せんだい男女共同参画財団

東京

2020年2月26日(水)
日本財団ビル

各日 9:40 open / 10:00 start 定員 各回40名

※ 会場により変動する場合があります。

※ 各会場の住所・地図はPeatixの申込ページ(下記)にてご確認ください。

スケジュール

午前の部 (10:00~12:00)

- オープニング
- アイスブレイク/チェックイン
- キーノートセッション
- 安心できる場づくりのキホン

昼食休憩

午後の部 (13:00~16:15) ※ 途中休憩あり

- ワークショップ①
- あなたの内なる「動機」を深掘りする
- ワークショップ②
- 当事者主体の居場所をデザインする
- クロージング
- 全体共有/チェックアウト

※ 内容・時間は変更の可能性があります。最新情報はブログでご確認ください。

〈参加申込受付中〉

一般:5,000円^{※1} / 当事者:1,000円^{※2}

※1 売上の一部は、ここから生まれる居場所の立ち上げ費用に抛出させていただきます
※2 ひきこもりなどの当事者・経験者の方に向けた価格です

参加のお申し込みはPeatixにて
(領収書の発行が可能です)

<https://uxkaigi.peatix.com>

先着順で、各会場定員に達し次第受付終了となります

2次元コード
からもアクセス
いただけます



一般社団法人ひきこもりUX会議



不登校、ひきこもり、発達障害、セクシュアル・マイノリティ等の当事者・経験者によるクリエイティブチーム。「当事者」たちが長い時間をかけて経験してきた生きづらさや葛藤、居場所のなさ、また様々な支援、そのすべてがUnique eXperience(ユニーク・エクスペリエンス=固有の体験)だと捉え、当事者の視点から「生存戦略」の提案・発信を続けている。2014年6月発足。



(写真左から) ※ [] 内はUX会議理事以外の主な活動など

石崎森人 [当事者発信メディア「ひきこもり」編集長]

恩田夏絵 [ピースポートグローバルスクール代表]

林 恭子 [NPO法人Node理事]

川初真吾 [ひきこもりフューチャーセッション [庵-IORI-] ディレクター]

室井舞花 [Next Commons Labディレクター]

* 開催地によって担当するメンバーは変わります